

# プレス自由

第4号  
2017.2

LIBERAL PARTY



発行:自由党 ■平成29年(2017年)2月10日発行 ■〒102-0083 東京都千代田区麹町四丁目5番6号 麹町森永ビル4F  
■Tel.03-3234-3330 ■Fax.03-3234-3332 ■ホームページ/http://www.liberalparty.jp ■E-mail:info@liberalparty.jp

## HEADLINES

- ①小沢一郎代表 巻頭提言/山本太郎代表 メッセージ
- ②通常国会開会にあたって/玉城 デニー 幹事長 次期衆議院議員選挙 候補予定者活動報告/広野 ただし、河上 満栄、真白 リョウ 地域の活動/堀越 秀生台東区議会議員

## 今年は何覚悟を決めて

## 本気で行動する年



今年は何覚悟を決めて、それ以上に国際情勢が大きな変化を迎える年になると感じています。世界は新自由主義と過度なグローバル化によって疲弊し、行き詰まっています。その結果、欧米先進諸国でも不満が高まり、それが市民の大きなうねりをつくっています。米トランプ新大統領の誕生も、単にポピュリズム政治として片付けるのではなく、アメリカ社会がそこまで深刻な構造的問題を抱えており、市民が自らの意思を選挙を通じて具体的に示した結果と見るべきです。また、東アジアに目を向ければ、韓国は歴史のといえるほどの政変が予想されます。さらに隣接する中国、北朝鮮も非常に大きな不安定要素を抱えています。

そして国内的には、アベノミクスという言葉がすっかり色あせてしまいました。景気は全く好転せず、国民の実質所得は下がっています。先般、ある経済学者のお話を伺ったのですが、意識調査をすると、日本人は「まだまだ自分は中の下ぐらいいだ」と答える人が多いそうです。下流ではなく中流だと思いたい、という気持ちはよく分かります。しかし、現実には6人に1人が相対的貧困層に分類されるような社会になっているわけで、国民生活は急速に悪化してきています。

このまま、安倍政権の新自由主義的な自由競争万能の政策が続けば、格差はますます大きくなっていく一方です。その中で何人かの人は、成功して大きな富を得るかもしれません。しかし、ほとんどの人は生活そのものが非常に厳しい状況に陥り、国民生活は窮乏の一途を辿ることになります。

### 小沢一郎代表 巻頭提言

私は、新自由主義やグローバルイズムを主張している人たちの政治姿勢は根本的に誤っていると思います。自由は大事ですし、自由競争はもちろん尊重されるべきです。しかし、全ての人が自由競争を勝ち抜けるわけではありません。むしろそれはごく一部です。残りの大多数の人、誰もが社会の一員として一定の生活を送ることができるよう、社会全体で護っていくシステムを構築していかねければなりません。そのために政治があるのに、安倍首相は全く正反対の考えを持つているようです。安倍政権により国民生活が破壊的な打撃を受け、そのうえトランプ大統領がかなり本気で強引な主張を押しつけてきて日米経済関係が悪化すると、この先、日本は本当に立ちゆかなくなってしまう。こうした危機を回避するためには、政権交代するしか解決策はないのです。この結論に一人でも多くの国民が早く到達してくれることを私は願っています。

そのためにも、国会における野党の存在が重要になります。野党は国会で現状に対する危機感をメリハリをつけた行動で国民に伝えて行くべきです。黙っていても泰平の世が続くという時代はもう終わつたのです。野党も国民も、今年は何覚悟を決めて行動する年だと思います。

### 山本太郎代表 メッセージ



通常国会が始まり、先日行われた参議院本会議での代表質問に立たせて戴きました。議会形骸化の天才、安倍総理の18番、意味なし答弁のオンパレードでした。一般の方には関係のない法律、という言い逃れを続ける本人に、テロ等準備罪(共謀罪)の「等」とは何か? テロ以外に適用される余地を残す理由は? と聞くと、答弁は安定の「ご指摘はありませぬ」。世界安全と言いつながらテロを理由にトンチンカ法案を成立させるおつもりです。

テロとの戦いを合い言葉に世界中に首を突っ込み、無人攻撃機などで民間人の殺戮を繰り返す米国に対して、マンパワーとお金をつぎ込み、もつとお手伝いする宣言(安保法)を行なった日本も当然、被害者側から見れば加害側。当時参加していた各国首脳の間違ひであったという言葉を無視し、イラク戦争の総括はせず、「大量破壊兵器」を証明できなかった方が悪い。と聞き直る姿勢は、自分たちでテロを呼び込もうとしているに等しい。少なくとも過去の反省と、国連無視、米国主導の他国への攻撃には金銭的部分を含む後方支援は一切行なわない、という宣言こそが、テロを国内で防ぐ何よりの方法ではないでしょうか?

当たり前すぎる事を何故やらぬか。テロへの恐怖を利用しながら数々の治安立法で国内の人権を制限する事が、いとも簡単に進められるから。既に秘密保護法、テロ資金規程法、刑事訴訟法改正、今回のテロ等準備罪(共謀罪)など、権力側が恣意的に拡大できるカードは揃っています。

これに緊急事態条項を新設する憲法改正で、民主主義国家離脱へのチェックメイト。それらをスムーズに運ぶ為には、権力側が自作自演のテロでも起こして、国民の理解に繋げるくらいの大技を繰り出す恐れはないか? 戦争が自作自演から始まる事を考えれば、決してあり得ない話ではない、と思ってしまうのは私の考え過ぎでしょうか?

そうさせない為にも、先にあるであろう解散総選挙では結果を残せるように、明るく粘り強く力を合わせましょう。



## 通常国会開会にあたって

自由・平和、自立と共生の基本理念で国会に臨む



玉城 デニー 幹事長

第193回通常国会が150日間の会期で1月20日に開会しました。激動を続ける世界情勢のなか、特に国民の選挙によって選ばれたトランプ新大統領の登場によって米国の政治情勢や環境がどのように変化していくのか、同盟国である日本の国会としても全く予断を許しません。短文投稿サイトを駆使して発信する個性の斬新さと、あらゆる分野で「米国第一主義」を掲げて取り組む影響力が、どの場面でもどのように表れてくるのか、日本の国民の皆さんの関心を集めることと思います。

第193回通常国会も、そのような激動する世界情勢のなかで、これまで山積しているさまざまな課題や新たな諸問題に対応するための予算や法案などの審議が行われてまいります。自由党は、自由・平和、自立と共生の基本理念をもって「国民の生活が第一」の政策を実行するため、真剣にひたむきに全国の仲間の皆さんと協力し一丸となって臨みます。



## 次期衆議院議員選挙 候補予定者活動報告

広野 ただし 富山県第1区

### モデル的な保育園を視察 (富山市)

平成28年12月18日(日)の自由党富山県連大会に小沢一郎代表が来富された際に、富山県の代表的な保育園を共に視察しました。「わかくさ保育園」は、休日保育、年末年始保育など年中無休で、また延長保育(午前7時から午後8時)や、病児保育も可能なモデル的な保育園です。認定こども園にもなっており、主要4施設で800~900人の子どもたちを世話しており、全国でも五本の指に入る素晴らしい保育園です。当日は日曜日で、休日の同保育園の他の施設(訪問施設の「もみじの家」以外の「ひまわりの家」など)からも保育士や職員の方々が集合され、小沢代表も女性多数に囲まれて、「ニコリ」顔の中での有意義な視察でした。



河上 満栄 京都府第5区



### 野党と市民の 扇の要を目指す

次期衆議院議員選挙 京都府第5区公認予定候補の河上満栄です。野党と市民の扇の要になるべく微力ですが尽力いたします。本年もよろしく願いいたします。今年の正月三日は、初詣参拝中のみなさまに選挙区内各所で新年のご挨拶をさせていただきました。3日の福知山市三和町は時折雨模様でしたが、この期間は比較的暖かい好天に恵まれた穏やかなお正月でした。現在は辻立ちを繰り返し行っております。地域によっては党派を超えて応援いただき、早速ポスターも掲示していただきました。「野党共闘」への期待を身をもって感じております。来る総選挙へ向け、まずは地元の皆様に名前と顔を覚えていただくこと。政権交代を目指し日々頑張ります!

真白 リョウ 大阪府第12区

### 真白リョウ 初陣の集いを開催

自由党大阪府第12区総支部長に就任してから、初めてのパーティ『真白リョウ 初陣の集い』を開催させていただきました。孫崎亨氏、上杉隆氏から激励のお言葉をいただき、さらに自由党からは小沢一郎代表、山本太郎代表をはじめ、玉城デニー衆議院議員、森ゆうこ参議院議員(代理)、木戸口英司参議院議員(代理)、姫井由美子岡山県総支部連合会長、そして、のざわ哲夫東京都第1区総支部長と豪華なメンバーが駆けつけてくださって、初陣ながら盛会となりました! まだ右も左もわからない新人ですが、皆様の心温まるご支援を励みに、地元大阪での毎日の街宣活動、増々頑張っていきたいと思っております。本当にありがとうございました!



堀越 秀生 自由党所属台東区議会議員

### 地域の活動

### 地方議会の最前線で 自由党を支える

上野浅草のある東京下町・台東区で区議会議員をしております堀越秀生です。

18年前、小沢一郎先生率いる自由党の公認として当選し、今期で5期目となりました。これも一重に初陣の時から御指導いただいた小沢先生をはじめ、自由党の皆様の御厚意によるものと深く感謝申し上げます。この間、私事、地元台東区の首長選挙に無所属で立候補し落選するなどさまざまなことがありましたが、この度、党の皆様のお許しをいただき、再度、自由党員として政治を行う機会を与えていただきました。誠にありがとうございます。日頃は区議会議員ということもあり地元台東区で活動することが多い日々ですが、今後は党全体の発展に少しでも貢献できるように微力ながら精進して参ります。

昨今、地方議員として国政を眺めておりますと、相変わらずのアメリカ隷属政治、そして社会的弱者をますます窮地に追い込むような官僚主導政治が垣間見えて怒り心頭の日々です。今の日本に必要なのは、今一度、政治を決める権限を主権者である国民に戻し、真の政治主導政治を強く再生していくことにあると思います。小沢先生がかつて自由党結党時に掲げた『独立国家としての成熟した民主主義の構築』という強い改革の意思を日本全国に浸透させるため、地方議会の最前線で頑張っております。

今後とも御指導の程、宜しく願い申し上げます。

